



金子勝

(1) 農林水産政策を日本経済再生ビジョンに位置づける

1. 「100年に1度」の経済危機の現在
2. 構造改革に対する真剣は総括を
3. 持続可能な成長の喪失(衰退過程に入った)という自己認識

(2) 農業利害と工業利害の対立構図を超越する

1. FTAと戸別所得補償(工業製品の輸出→東アジアへの農産物輸出)
2. 日本版グリーンニューディール構想
 - 再生可能エネルギーの全量固定価格買取政策→売電収入
 - 耕作放棄地、小水力発電(農業土木)、バイオマス
 - スマートグリッドと双方向送電配電網(10電力体制)
- * 北海道・東北・中国・四国・九州をエネルギーの供給の一大供給基地へ
3. 石油の代替(西欧上流リスト)

~~(3)~~

(3) 民主党本来の農業政策をよびかへ

1. 規模拡大の政策から(小規模農産物 c/ 諸外国)
2. 米の戸別所得補償を10% (赤字補償とセーフティネット)
3. 三本柱(安心・安全の農業、6次産業化)から初めて地域(面)としての農村を再生する

参考文献

金子勝・武本信彦「日本再生の国家戦略を急げ!」(小学館)

金子勝「食から立て直す旅」(岩波書店)